

H 1 5 事業評価中間公表への市民意見検討経過調書

対象事業名	市記録紹介ビデオ制作事務	事業CD	T 1 2
担当部課	企画財政部市民の声を聴く課	部長氏名	野 昭夫

意見の要旨	最終評価への反映状況	左の理由	関係協議部署
市の将来展望に立った時、記録は多いに残さなければならぬ。是非継続すべきである。また、事業活動が計画どおり進捗しているのであれば、総合評価は「C」ではなく「B」でよいのではないか。	総合評価に反映する。	「まちの今」を映像で残していくことは、歴史文化や都市発展の変遷を記録保存する上でも大変重要なことである。継続することで、効果が発揮されるものであり、単年度での評価は難しいものがあるが、限られた費用の中での取組としては良好であり、事業の意義は高いので「B」評価とする。	事業評価会議での検討(1/15) 市長・助役ヒアリング(1/28)
市民参加を積極的に推進するために「映像コンテスト」の実施を検討してもらいたい。これは市民参加の大きな場面となる。	反映できるよう努める。	この事業に限らず、各種事業の取組みの中で、「映像コンテスト」が実施できないか検討する。	